

開催協議会名	令和3年第3回 津和野警察署協議会		
開催日時	令和3年9月14日（火）14時30分から16時00分まで		
出席者	協議会委員	4人（松浦会長、田中副会長、齋藤委員、岩本委員）	
	警察署	6人（署長、副署長、交通課長、生刑課長、総務係長、生安係長）	
	公安委員会	高橋公安委員	
会議・協議	署長からの 諮問等	報告	高齢者の交通事故防止対策（中間報告）
		説明概要	<p>前回委員から提言を受けた横断歩道における歩行者の安全確保に関し</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 横断歩道など交通規制改善計画について説明した。 <p>同じく委員から提言を受けた運転免許証返納に伴う交通代替手段としてのシニアカーの普及促進について、当署で作成した、シニアカーの安全利用に関する教育DVDの視聴を行い、意見を求めた。</p> <p>更に高齢者の交通事故防止対策として取組中の</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全教室開催状況 ○ ヘルメット着用促進隊員の指定 ○ はつらつキラキラメダカ作戦の開所及び情報発信ツールとして構築した ○ セーフティコンシェルジュの委嘱、運用状況 <p>について説明した。</p>
		答申(意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ○ シニアカー教育DVDの普及についてシニアカーの教育DVDのCATVでの放映日時を教えてほしい。またシニアカーを使用する人が視聴できる機会を作ってほしい。 <p>（田中副会長）</p> <p>（回答）交通課長</p> <p>サンネットにちはらで15分枠の番組で放</p>

	<p>映予定。本DVDについては、交通教室ほか講習、グランドゴルフ愛好家への出前教養等を実施予定。</p>
<p>諮問事項</p>	<p>令和3年度共通諮問事項 サイバーセキュリティに対する意識・理解を県民に広く醸成させる方策</p>
<p>説明概要</p>	<p>冒頭で</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ インターネット利用犯罪の現状について ○ 模擬ネット空間を構築してのスマートフォンを使用したフィッシング被害のデモンストラレーション ○ フィッシング防止対策の状況 ○ 広報などこれまでの警察の取組 <p>について説明した後、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ セキュリティ対策に興味を持たせる方策 ○ セキュリティ教育の手段・方法 ○ 効果的なものにするにはどのようなコミュニティ、機会が必要か ○ 効果的なものにするにはどのような関係機関や事業者と連携することが考えられるか <p>について諮問した。</p>
<p>答申(意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治体と連携した広報について 周知を図るために漫画を連載、記事にして自治体、公民館などと連携して広報してはどうか。自治体などの公的機関と連携して教養を行うなど 地道に町民の安全を守ることが重要である。 (松浦会長) ○ 標語などによる資料を用いた広報の実施 高齢者に限らず、サイバーセキュリティに関心を持ってもらうためには、注意喚起のため大きな字で 「危険！あなたの情報が盗まれる」 などの標語等を用いたチラシを作成して、ホ

			<p>ームセンター、ドラッグストアなどの店舗に掲示したり、町の広報誌と一緒に配布したりしてはどうか。(田中副会長)</p> <p>○ ネット端末販売時の業者による顧客へのセキュリティに関する指導、説明の徹底</p> <p>高齢者はもうすぐガラケーが使えなくなると販売店で説明され、ガラケーとスマホの違いも分からずスマホに乗り換えている。</p> <p>ID、メールアドレス、パスワードなど用語もわからないまま店員の説明に乗って購入している。使用者自身にセキュリティに関する意識がない状態で社会の変化についていけずスマホ等の機能を使いこなせていない。</p> <p>店舗等販売側が顧客に機種販売時にしっかりと指導、説明し、使用方法、セキュリティーに関して理解させることが大事である。便利さだけでなく危険度を説明する姿勢を醸成することが、大切である。(齋藤委員)</p> <p>○ 年代ごとのネット環境の危険性を周知させる活動について</p> <p>高齢者はネットショッピングが怖い。また、身近にサイバー空間での危険が迫っている。幅広い年齢層にサイバーセキュリティーに関する意識を浸透させるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小・中学生には保護者会等の集会を利用した研修会の開催 ・ 高校生には校内授業などでの教育の実施 ・ 一般の方には企業等勤務先での出前教養の実施 ・ 高齢者などこれからスマホを利用する方には販売業者等と連携した出前教養の実施などを検討してはいかがか。漫画等を用いたチラシなど、年齢層にあわせた広報について工夫が必要と思う。(岩本委員)
	その他意見		<p>○ 交通量の多い県道と農道の接する交差点に一時停止規制がないところがある。農道であっても交通量が多い場所には交通規制が必要</p>

			<p>ではないか。(松浦会長)</p> <p>(回答) 交通課長</p> <p>安全対策の例として、スリップ防止の表示、字光式の標識を設置するなど、その場所ごとに必要な対策を行っている。駐在所などから地域の情報を吸い上げ、対応中である。一時停止規制ほか個々具体的に場所が分かれば対応するので教示頂きたい。</p> <p>○ 横断歩道で歩行者が横断待ちしているときに一時停止する車が増えて安心している。</p> <p>(松浦会長)</p> <p>(回答) 交通課長</p> <p>横断歩道で横断歩行者がいる際に一時停止する車が全国一多いのが長野県で、約7割の車が停止している。島根県は全国5位であるが停止する車の割合が4割程度であり交通指導取締りなど更なる対策が必要である。当署としても重大事故防止のため、横断歩行者妨害など重大事故に直結する違反の取締りを強化する。</p>
<p>公安委員の講評</p>	<p>諮問事項のサイバーセキュリティの浸透方策について、漫画等を利用したチラシ配布による広報については、県下で進めていけば効果があるものと感じた。</p> <p>ID、パスワードなど特に60歳以上の高齢者は放置したままで忘れてしまい犯罪被害に遭っている。私も機器にメモ登録するなどしているが、広報、販売店等と連携した指導により正しい知識を利用者に周知することが大事である。</p> <p>貴重なご意見を賜り感謝申し上げます。協議会を拝見し、協議会委員各位、津和野署が横断歩道での歩行者安全対策をはじめ、住民の安全、安心確保のため討議を重ね、様々な対策を進めておられることに敬意を表す。貴協議会の益々のご発展を祈念する。</p>		
		<p>会長挨拶</p>	<p>高橋公安委員挨拶</p>

写

真



報告状況



意見交換状況

